

総務文教常任委員会

●(仮)環境基本条例の制度制定について

質問

具体的な制定に向けた体制づくりをどう構築し、山菜の乱獲等についてどう対応していくのか。

町長答弁

条例の原案については担当課で9月を目途に作成し、課長会議等で協議を行い制定をしていきたい。また環境保全の推進を図るために環境基本計画の策定についても検討を進めたい。

山菜の乱獲防止等については昨年看板を立てたり対応をしているが、国、森林管理所や土地の所有者との協議や多くの課題があ



南雲和夫

代

表

質

問

り、環境基本条例とは別に取り組みを考えていきたい。

●教育体制(保育、教育)の再編にかかる将来構想について

質問

質問

湯沢高校跡地の利用は、教育の充実の観点からも中学校建設をはじめ、少子化に伴う早急な将来構想の取りまとめが必要である。組織体制と進め方、中学校の建設時期を伺う。

町長答弁

行政改革の中心と捉え湯沢町の教育環境として今後の学校施設、保育園はどうあるべきか、文教施設の整備計画を協議するため副町長を長とする文教施設整備検討会を設置し検討を始めたところである。関係各課で財政、建設、統合等の検討事項の内部協議を進め、6月を目途として文教施設整備計画案を作成し順次説明していきたい。中学校の建設時期は、文教施設整備

計画と財政状況を総合的に判断し決定したい。

●防災対策について

質問

総合防災訓練と、地域自主防災組織との関わりと連携は。また、世帯数が少ない地域の組織づくりについてどう対応していくのか。

町長答弁

総合防災訓練は9月13日(日)に湯沢中学校及び湯沢高校跡地を会場に実施する予定であり、町、消防組織をはじめ関係機関、団体や地域自主防災組織からも協力をいただく予定である。世帯数が少ない町内には、相談しながら進めていきたいと考えており、組織がある程度整備された段階で隣の組織との連携等についても必要に応じ指導を行って行きたい。また、資機材の購入や訓練等の啓発事業に小額ではあるが補助制度として計上させていただいている。

●給食センターの職員体制について

質問

派遣職員対応と、給食センターの運営に係る将来構想を伺う。

町長答弁

町職員の給食調理職員のうち2名が定年退職を迎え、あわせて職種変更により現業職員が減員となることから現業職場全体の人員配置を考えた結果、10名の派遣職員対応としたい。町職員1名を配置し県の栄養職員と連携し、「食育や食の安全」の確保を図り、派遣職員の管理や事務処理を行っていききたい。将来については、文教施設整備計画との関連性から、運営全体についても検討することになると考える。

●マグナ国際交流の今後について

質問

多くの生徒がこの交流事業に参加できるよう考慮しとある。また不況で参加希望生徒への影響が懸念され

るが、それらにどう対応していくのか。

平成16年度から実施、延べ61名の中学校生徒の派遣と39名のマグナの子供たちの受け入れを実績として残しているが、将来の展望を考えるうえで参加者の動向や追跡調査が必要かと考える。また、姉妹都市提携を考える上でも経済、文化交流は欠くことのできない条件であり、これらについてどう醸成させていくのか考えを伺う。

町長答弁

交流の主旨は異文化に触れ、家庭の生活や習慣を体験することが目的であり、調査等は特に考えておりません。町から経費の約半額を助成し参加を募っており、保護者の理解と希望する生徒が参加できるよう働きかけて行きたい。

また、姉妹都市提携プロジェクトに係るマグナ側の代表者シュルツ氏とも、今後の交流のあり方についての意見交換を考えている。この教育交流を積極的に推進する中で姉妹都市提携の実現に向けて努力したい。